1 11版S 第26953号 (明治25年3月12日第3種郵便物認可)

2017(H29).12.5(火)東京

大学新入試 知識の質重視

共通テスト 試行問題と結果公表

大学入試センターは四日、現行のセンター試験の後継で二〇二〇年度に導入する「大学入学共通テスト」に向け、課題を検証するために十一月に初めて実施した試行調査の問題と、結果の一部を公表した。出題では活用力など知識の質を重視し、冊子の総ページ数が増加。国語と数学Ⅰ・Aの一部で登場した記述式問題では、多様な資料から読み取った情報を基に考え、表現できるかが問われた。マークシート式の新たな問題形式では低正答率のものもあった。＝戸惑う高校生❸

変わる入試狙いは⑩⑪面

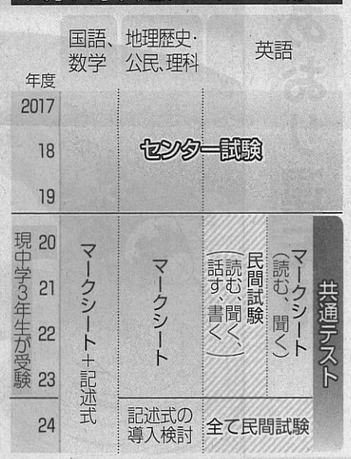
センターは、今回と来年秋の試行調査などを通じ難易度や問題構成、効率的な採点方法などを検討する。英語の試行調査は来年二～三月に別途、実施。今回の結果はマーク式問題の答案のうち七割程度を採点した段階の速報値で、記述式の採点作業はベネッセに委託して来春までに結果を公表する。

出題の狙いについて、センターは①「思考力・判断力・表現力」を発揮して解く問題を各科目の全ての分野で重視②初見の資料も扱い、どんな場面でも知識を活用できるかを確認―などと説明。文章や資料が増え総ページ数は現行より約二割増えた。センターによると、マーク式問題の小問ごとの平均正答率は0・9～87・1％で、センター試験より低め。科目別平均正答率は部分点などが未定のため算出していない。

文章や資料などから読み取った情報を組み合わせて考える知識活用型問題や、選択肢から当てはまるもの全てを選ばせる新しい出題形式で、正答率が三割に満たないものが多かった。

試行調査は十一月十三～二十四日、全国の高校の約四割に当たる約千九百校で行われ、延べ約十七万八千人が参加した。実施科目は各校で異なり、記述式とマーク式を併用する国語と数学Ⅰ・Aは二年生以上、マーク式のみの数学Ⅱ・Bや日本史B、物理など九科目は原則三年生が対象。個人成績は学校に報告する。

大学入学共通テストへの流れ



平和の俳句 戦後72年

つらかった戦後の衣食住の貧しさが

井島（いじま） みさ子（77） 浜松市西区

〈いとうせいこう〉なんの作為もない。まことの心の小さな、そして深いつぶやきが字余りだけれど俳句になった。何度読んでも悲しく感慨がわく。

2017.12.5

ニュースピックアップ

▶▶ きょうの目次は③面

「ロシアの平昌」協議へ ❷

核心 ドーピング問題に揺れるロシア。平昌冬季五輪参加可否を決める協議がスイスで始まる。

米韓が「史上最大」訓練 ❷

聯合・共同

「史上最大規模」の米韓軍事訓練は北朝鮮の軍事施設攻撃も想定。北朝鮮は「核戦争の前奏曲」と反発。

松橋事件で特別抗告 ㉘

福岡高検は松橋（まつばせ）事件の再審開始を認めた福岡高裁決定を不服として最高裁に特別抗告した。

政府広報｜中小企業庁

中小企業経営者の皆さまへ！

●年末に向けた資金繰り
●経営者保証なしでの融資、保証債務の整理など
について相談してみませんか？

相談先等、詳しくは▶中小企業庁金融サポート 検索